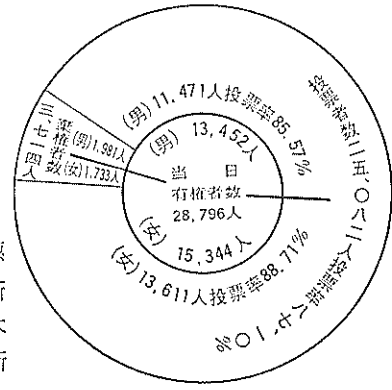


### 期待に反した投票率

最高は奈路の 93.15%



10月15日に行なわれました市議会議員の選挙は、市民と密接なつながりのある選挙戦とあって日増しに盛り上がりを見せ、前回の市議選よりも投票率が伸びるものと予想されてまいりましたが、その期待に反して1.6%も下回るといったみじめな結果に終わりました。

当日の有権者数は 28,796人  
投票者数 25,082人  
棄権者数 3,714人  
投票率 87.10%  
有効投票数 24,922票

無効投票数 160票  
という投票の結果をみました。  
ところで投票率の最高は、第37投票所(奈路)の93.15%、第36投票所(八坂)92.71%、第35投票所(白木谷)92.64%、と90%を越した投票所は20カ所を数えました。最も低かったのは70.08%の第27投票所(長岡西部)で、つづいて悪いのは第3投票所(物部)76.76%、第5投票所(稲吉、能間、朝日町、西蔵)77.96%で80%を割ったのはこの3カ所でした。  
なお、前回の最高は94.74%、最低78.24%、平均88.6%にくらべてやや

低調な成績でした。この低調さは転出していながら新住所地への手続きをしないため、名簿にそのまま登録されている人たちがかなりみうけられました。前回と違って永久選挙人名簿になったことにも原因があるようです。

## 新市望む

浜田 弥芳さん  
前 浜(主婦)

議員の皆様、おめでとございます。四年間の市政をくぐり、れもよろしくお願いたします。卒直なお願いを申します。  
一、住民と市政をつなぐパイプがつまりぬように、議会のあとは地区民に対して、必ずず議会報告をしていただきたい。

- 二、伸びゆく南国市を作るために、十分よく勉強していただきたい。
- 三、地域の顔役にならないで、市民の手足となられるよう。
- 四、党利党略、私利私欲のため議会を混乱させないよう、あくまでも公正な市政を。
- 五、絶対欠席しないことを誓ってほしい。
- 六、今回の選挙では、一せいにポスターの後始末をしてくだ

さったが、あれは素晴らしい計画でした。

新人の方が多数当選されたことはよいことだと思います。いままでも自分の見たこと、聞いたところでは、議会への出席が少なく、出席しても発言しないといった議員が少なくないようです。  
日当を出す、出さないにかかわらず市民の代表として出席し、真剣に議会に望んでいただきたい。

市として今後解決しなければならぬ問題は「こじやんと」あると思います。市の行政が適確に行なわれているか、市民の声が行政に反映されているか十分検討

岩 原 英 輔 君  
三和 (青年)  
の声を行政に反映させているか十分検討

のゆき方などについて正しく市民に伝え、市民の声を聞く機会を積極的に持って、議会運営に望んでいただきたい。

初当選の方は判らない点もあると思いますが、国、県、他市の行政を十分研究し、市の行政が正しく行なわれるよう指導に努め、地区の利益のみでなく市全体が発展するよう、大きな気

持ちを持ってがんばってください。

最後に市の今後を背負う青年と市長以下市職員とのつながりを密接にされ、市の将来を安心してまかされる青年の育成に努力せられることを願います。

宮崎 一 さん  
下末松 (農業)

議会と執行部の緊密な協力は市政運営上大切である。執行部の提案をうのみにすることはいけないが、何々議員などと称してこの善悪にかかわらず反対し、その執行を妨害することについてはつしんでほしい。よく審議したうえで善政に対しては「一丸」となつて協力態勢を立てていただきたい。

▽農政の重視  
市の産業の中心は農業であり、農業以外の産業も多くは農民の購買力に依存している。農業の発展が直ちに市の繁栄及び市民生活の向上につながる、それ故市の産業政策の中心は農政になければならない。いままでの市政は農政を軽視しすぎた感がある。こん後は関係機関と連携し農政に力を入れていただきたい。



## 議席を増した革新系

現職3人が落選

市の行政を左右する市議会議員の選挙は、三十五人(現職二十一人、新人十四人、元一人)の立候補者によって十月五日から十日間の舌戦がくり広げられ、その結果現職三人が落選のうき目をみるなど議席にかなりの波乱をみせました。  
とくにこんどの選挙で社会、共産、公明の各党はそれぞれ二人の公認候補者をたて、全員当選という好成績をあげ、議席の倍増に成功するなど、議会地図を大きく塗り変えました。  
十一月五日で任期満了をひかえて市議会議員を改選する選挙は、十月五日に告示、十五日に投票が行なわれ、十六日未明に新しい議員の顔ぶれが決まりました。  
こんどの市議選は三回(大選区で二回目)の選挙で、金堂市政の中間選挙といえるもので、初め三十六人の立候補者が予想されていきました。しかし一人が立候補を断念し、現議員二十一人(二十七人のうち七人が引退)が再出馬し、新人十四人、元議員一人、計三十五人によって争われました。  
前回の市議選(三十八年)は三十二人の立候補者で、八十八、七割でしたが、今回は関係保、し尿処理など重要なことがらが出積しており、市民の関心も高く、また混戦模様もあって、かなり上回るものとみられていました。  
投票日は日曜日でもあり、さいわい秋晴れの好天に恵り、またの、絶好の行楽日よりということもあってか、立候補者の多い北部山間地区と南部の農漁村地帯の

好調な出足に比べ、中心部の後免、大篠ならびに日章などサラリマンや他からの転入者の多いところでは伸び悩みをみせました。その結果予想外に悪く、前回より一、六割も下回り、八十七、一割にとどまりました。  
開票は即日開票で行なわれ、三百人余りの市民が見守るなか、午後八時から市民体育館で開かれましたが、午後十一時には十数人の当確者がでるなどスムーズに運ばれ大勢を決しましたが、最後の議席に三人の候補者がせり合い、予断を許さぬままに進み、午前三時前にすべてを終りました。  
新議員の  
平均年齢50、4歳  
新しく選ばれた議員は現職十七人、新人十二人、元議員一人で、党派別では社会、共産、公明党は各二人、無所属十四人ということになりましたが、革新系とみなされる人たちが回を重ねること

に増え、とくに社会、共産、公明の三党は議席の倍増に成功しました。  
このためこんどの議会運営についてはかなり波乱を呼びそうだと注目されています。  
こんどの選挙では現職三人と、新人二人が落選という結果をみましたが、前回のよう干票を越す候補者はなく、九百九十五票の松木二郎氏を最高に九百票台を占めたのは五人(前回千票台五人)と

## 候補者別得票数

松木 次郎 (無、新)	九百九十五票	小川 良水 (無、現)	七一九、四四五票
吉村 雅男 (無、現)	九百九十五票	西村 熊吉 (無、新)	七一九票
井口 清 (社、現)	九百九十五票	沢村 武一 (無、現)	七一九票
島内 正雄 (無、現)	九百九十五票	徳永 安雄 (無、現)	七一九票
豊永 茂春 (無、新)	九百九十五票	岩崎久秀 (無、新)	六八七票
浜田 健夫 (無、現)	八四六、五六三票	西山 元吉 (無、新)	六八三票
沢村 道雄 (公、新)	八〇二、二九一票	松岡 幸寿 (社、現)	六八二票
大谷 巖 (無、現)	八〇一票	川村 等 (無、新)	六四三票
橋本二三 (無、現)	七九四票	平田 良広 (無、現)	六二七票
猪野 茂行 (公、現)	七九三票	岡崎 武治 (無、新)	六二六票
野村 義実 (無、新)	七八三、三九八票	小崎 清重 (共、現)	六〇九票
野口 重重 (無、現)	七五九票	山沢 正滋 (共、新)	五八一票
橋田 信夫 (無、現)	七五八票	次点	
土居 菊雄 (無、新)	七五二票	岩原 栄村 (無、現)	五五〇票
竹田 広実 (無、現)	七五〇票	門田 行幸 (無、新)	五五〇票
北岡 博 (無、元)	七四二票	中沢 健 (無、現)	五二二票
野村 進 (無、新)	七二七、一五五票	神田 晴重 (無、現)	三六六票
		高島田道雄 (無、新)	二九六、二六七票